

平成26年 第3回定例会

一 般 質 問

[会派代表質問]

印西市議会

順番	会 派 名	議員番号	議 員 名	質問 方式
1	新 政	1 8 番	板 橋 睦	一問 一答
2	市 民	1 4 番	山 本 清	一問 一答
3	公 明 党	1 1 番	橋 本 和 治	一問 一答
4	ひ び き	1 7 番	金 丸 和 史	一問 一答
5	昂（すばる）	2 0 番	松 本 多一郎	一問 一答
6	北 総 志 政 会	9 番	酢 崎 義 行	一問 一答

新

政

質問者 18番 板橋 睦

- 1 印西クリーンセンターについて
 - (1) 延命化工事計画の進捗状況
 - (2) 次期中間処理施設の候補地選定の進捗状況

- 2 県営手賀沼終末処理場に一時保管されている指定廃棄物について
 - (1) 現状と安全対策
 - (2) 保管期限は来年3月までだが、今後の対応

- 3 介護保険料の還付（返金）未処理について
 - (1) 原因究明の進捗状況と今後の対応

- 4 学校の統廃合について
 - (1) 学校教育環境整備に対する考え方と今後の方針

- 5 給食センターについて
 - (1) 新給食センター整備計画の進捗状況
 - (2) 現給食センターの整備の進捗状況

- 6 小・中学校普通教室へのエアコン整備について
 - (1) タウンミーティングの出席状況と意見
 - (2) 今後の方針と整備スケジュール

- 7 木下駅圏の活性化について
 - (1) 印旛高校跡地活用
 - ① 展望交流広場、展望スペースの整備計画
 - ② 野球場跡地、農場跡地の整備計画
 - (2) 木下小学校の安全対策について
 - ① 法面復旧工事の進捗状況
 - ② 周辺住民と児童への安全対策
 - (3) デキシー跡地について
 - ① 現状について

8 スポーツ振興について

(1) 郡市民体育大会

①成果と課題

(2) 高校総体空手道競技

①成果と課題

(3) 10月に予定されているクライミングワールドカップについて

市 民

質問者 14番 山本 清

1 北総線運賃問題

- (1) 北総鉄道株主総会で、市長が株主質問権を行使したことについて、市民からの反響はどうか。
- (2) 耐震補助の問題は今、どうなっているか。
- (3) 北総線の昼間回数券、土日休日回数券、普通回数券をバラ売りすることについて、執行部内部ではどのように議論しているか。出張所、駐輪場に販売機を設置することについて、どのような法的問題があるか。

2 ゴミ問題

- (1) 現施設の延命化は、どのように進んでいるか。
- (2) ゴミ減量化政策の進捗状況はどうなっているか。
- (3) 雑紙、生ゴミ対策はどうなっているか。

3 病院問題

- (1) 印西市内で、オペが必要な脳疾患で市民が倒れた場合、どこの病院に運ばれているか。多い順番に件数で答え願いたい。
- (2) オペが必要な心臓疾患の場合はどうか。
- (3) 平均搬送時間はどうなっているか。
- (4) 市内の病院から補助金を出してほしい、という要望が出ている、と聞く。今年の8月15日、病院関係者が市長と面談した、という情報がある。どの病院が、何を言いに来たのか。どのように対応するのか。
- (5) 日本医大病院は、救急医療を始めて何年目に補助金を受けることになっ

たのか。

4 教室エアコン

- (1) 「市長と語るタウンミーティング」において、教室エアコンについて、どのような反応があったか。タウンミーティングで実施したアンケート結果はどのようなものだったか。
- (2) 大規模校、小規模校の「間仕切り」について、どのような検討が進んでいるか。
- (3) すべての小学校に同時にエアコンを設置することは可能か。同時設置するためにはどのようなハードルがあるか。
- (4) 確実に同時設置するためにはリースしか方法がないが、リースに国の補助金は出るか。国の補助金は費用の何パーセントをカバーするか。

5 プール開放

- (1) 今年のプール開放事業について、どのように総括しているか。
- (2) 小学校プールにおけるプール開放実施を増やすためには何が必要だと思うか。来年に向けて秘策はあるか。

公 明 党

質問者 11番 橋本和治

- 1 2016年に市制施行20周年を迎えるが、それに向けた本市の方針と取り組みの状況を伺う。
- 2 公共施設の屋根貸し方式による太陽光発電導入の検討状況について伺う。
- 3 タイムラインによる水防対策を導入する考えはないかを伺う。
- 4 本市の健康福祉政策について下記の点を伺う。
 - (1) 印西総合病院の相次ぐ診療科中止の状況
 - (2) 医療法人社団生和会の（仮称）千葉ニュータウンリハビリテーション病院の進捗状況

- (3) 平原クリニックの駐車場封鎖の理由
 - (4) 社会福祉法人昭桜会の（仮称）特別養護老人ホームサクラビア印西の進捗状況
 - (5) 介護予防事業の取り組み状況
 - (6) 子育て世帯臨時特例給付金と臨時福祉給付金の現状
 - (7) 子ども医療費助成拡充の考えはないか
- 5 町内会等の行政協力および活動に対する補助制度の変更に伴う町内会等の反応について伺う。
- 6 本市の観光振興計画を策定する考えはないかを伺う。
- 7 小型家電リサイクルの進捗状況を伺う。
- 8 スポーツ振興について下記の点を伺う。
- (1) 高校総体空手道競技の総括
 - (2) クライミング2014の取り組み状況
 - (3) 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた本市の取り組み
 - (4) スポーツ振興のための条例を制定する考えはないか

ひ び き

質問者 17番 金丸和史

- 1 印西クリーンセンター更新問題について
- (1) 印西市内に限定されている候補地選定はどのように進んでいるのか。
 - (2) 長寿命化・延命化計画の進捗状況はどうか。
 - ① 説明会での反応はどうだったのか。
 - ② ①について説明が果たせたと思っているか。
 - ③ 長寿命化・延命化計画を実施しないための方策について検討を続けているのか。

2 指定廃棄物の一時保管の動向

- (1) 前定例会以降の動きはどうであったのか。
- (2) 搬入した各市に持ち帰ることとされるようであるが、具体的な計画を立てているのか。
- (3) 他市が搬入した以外の指定廃棄物はどのように考えているのか。
特に我孫子市との連携はどのように行っているのか。

3 スポーツ・文化振興について

- (1) 今年度の印西市に関係する方々の実績
 - ① 国際大会への参加者は
 - ② インターハイ参加者は
 - ③ 全国大会・関東大会の参加者は
- (2) (1)に関する補助金等
 - ① 現時点での実績額はどの程度であるか。
 - ② 現行の補助金制度の課題は何か。
 - ③ 平成32年の東京オリンピック・パラリンピックを目指すため市の指定選手の考えはないか。
- (3) 組織の編成に関すること
 - ① インターハイ後の人事異動はどうか。
 - ② 「スポーツ振興課」の市長部局への編入はどうか。
 - ③ 東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れた組織編成の考えはないのか。

4 教育に関することについて

- (1) 市内小中学校エアコン設置計画の進捗状況はどうか。
 - ① 前定例会の意見書採択後の教育委員会部局における動きはどうか。
 - ② 市長は、今後の進め方についてどのように考えているか。
- (2) 「適正規模・適正配置方針」の進捗状況はどうか。
 - ① 国の動向を踏まえた上での現段階の状況はどうか。
 - ② 視察した出雲市の例を参考として取り入れられることはないか。
- (3) 教育備品等の充足状況はどうか。
 - ① 教育現場において充足できているのか。
 - ② 教育現場からの要望事項はどのようなものが出されているか。
 - ③ ①・②をどのように解決していくのか。
- (4) 小中学校の改修事業の状況
 - ① 今年度の実績はどうか。
 - ② 教育現場からの要望事項はどのようなものがあるのか。
 - ③ ②の解決に向けて、どのように考えているのか。

④ 木刈中学校の改修工事の進捗状況

ア どの程度進み、どの程度の工事が残っているのか。

イ 太陽光発電システムの工事の予定はどのようになっているのか。

5 農業振興について

(1) 印西産印西消費＝「印産印消」

①市としての取り組みはどうか。

②現在、取り組んでいる団体を把握しているか。

③今後の施策展開はどのように考えているのか。

(2) 「食料自給率」

①印西市内の現状はどうか。

②そのものの考え方を見直そうという動きをどう捉えているのか。

(3) 遊休農地の解消施策はどのような状況か。

(4) 今年度の米の動向はどうか。

昂（すばる）

質問者 20番 松本 多一郎

1 3年目を迎えた板倉市政の課題

(1) 公約の進捗状況と課題について

①ゴミ処理問題

ア 用地問題

イ 延命化計画

ウ ゴミ減量への取り組み

エ 次期中間処理施設の建設計画

②医療問題

ア 二次救急医療について

イ リハビリ病院について

ウ 医療体制の充実について

③北総線の運賃問題

ア 補助金停止後の利用者への影響

イ 更なる値下げへの取り組み

④子育て・教育施策

- ア 子育て環境の充実について
- イ 学童保育の現状と今後
- ウ 小・中学校へのエアコン設置問題

⑤地域振興と環境保全

- ア 地元業者育成について
- イ 商工振興の具体的成果について
- ウ 緑の保全への取り組みについて

- (2) 公約実現のための財政の課題
- (3) 市長の市政運営の姿勢について

2 旧印旛高跡地活用事業について

- (1) 現在の進捗状況と今後の計画
- (2) 用地取得計画と印旛明誠高校市有地の県への売却について
- (3) 高台部の有効活用について

3 放射能汚染物質の保管問題について

- (1) 保管状況
- (2) 今後の対応
- (3) 地元要望の進捗状況

4 災害に強い街づくりについて

- (1) 自然災害に対する備えは
- (2) 防災ハザードマップについて
- (3) 地域防災について

5 国際交流事業の推進について

- (1) 現状について
- (2) 今後の事業推進について
 - ア 小・中学生の海外派遣について
 - イ 友好都市の締結について

北 総 志 政 会

質問者 9 番 酢 崎 義 行

1 地籍調査

国家の3要素として言われているのが、国土・人民・主権です。

この内、国土について、国内の土地は一筆ごとに管理されていて登記簿謄本及び公図または測量図という形で、法務局に整備されているものの、その正確性はまちまちで、先進国であるといわれている日本としては、改善しなければならない問題だと思えます。そして、これは、市の自治事務となっています。

今現在、地籍調査に対する印西市の取り組みはどうなっているか伺います。

2 道路の保守と整備

(1) 「データいんざい2013」によれば、市道の総延長は、平成25年4月1日現在1,114,676m となっています。この中には、新設したばかりの道路から未舗装のものまで含まれますが、市はこの1000km以上の道路を維持管理していかなければならないわけです。それには、長期的な修繕計画が不可欠です。

そこで、この問題に対してどのように対応しているかあるいは計画しているか伺います。

(2) 今年の6月に国交省より、「橋梁の定期点検要領」が出されました。これに対する市の対応を伺います。

(3) 最近自然災害が頻繁に起こっていますが、市内においても降雨時道路から流れ込む雨水による被害や苦情をよく耳にします。

2、3年前から市全体の道路排水計画を策定していると聞いていますが、その進捗状況を伺います。

(4) 合併してから5年目を迎えておりますが、新市基本計画で示された道路整備について、その進捗状況と今後のスケジュールを伺います。

3 環境の整備・保全

(1) 廃棄物減量等推進員制度実施

7月1日付で、市のホームページに廃棄物減量等推進員制度実施についての掲載があり、同時に今まで各自治会等から選任されていた不法投棄監視員は、廃棄物減量等推進員（クリーンパートナー）に変更になりました。この制度は、平成3年の廃棄物処理法の改正により、「発生したごみをどう処理するか」という従来の視点から、「ごみの発生をどう抑制するか」という視

点へと変換し、新たに設けられた制度です。

そこで、クリーンパートナーと従来の不法投棄監視員の役割の違いはどこにあるか伺います。

(2) 不法投棄防止策

印西市のクリーンパートナーの役割の中には、従来の不法投棄監視員が行っていた「不法投棄の未然防止及び通報」という項目が入っています。これは、例えば、平成7年に早くから廃棄物減量等推進員制度を導入した成田市のものには無い項目で、印西市の場合は、制度移行に伴う現状把握と継続性を良く検討した跡が伺えます。

昨年まで不法投棄の防止については、不法投棄監視員と市のクリーン推進課が協働して、大きな効果を上げていたと認識しています。

①印西市環境白書2013によると、平成24年度の不法投棄件数は351件となっていますが、平成25年度はどうだったか。また、平成26年度の見込みはどうか伺います。

②制度移行後の不法投棄防止策に変更はあるか伺います。

(3) ごみの減量成果と今後の対策

平成25年3月発行の「印西市環境基本計画」では、1日1人当たりのごみ排出量の削減について、平成23年度を現状として888g、平成27年度目標を774g、平成32年度目標を696gとしています。また、この目標に対して実績は、地域での説明会等の資料の中で、平成24年度895g、平成25年度901gとなっています。

そこで、今後の対策とその中でクリーンパートナーに何を期待するか伺います。

(4) 次期クリーンセンター早期建設へ向けての印西市の役割

印西地区環境整備事業組合では、次期クリーンセンターの候補地の決定にあたり公募地の評価をしています。どこになるにしても早く建設することが印西地区全体の利益につながるものと考えます。

そこで、印西市としてどう協力していく方針か伺います。

4 農業経営支援

今回イノシシの被害について、複数の農業関係者から対策についての不満が寄せられました。実際、生息範囲も広がっているとの情報もあり、生息数も増えているとの指摘もあります。市としても毎年予算を増やしながら対応しているところですが、このままでは収拾がつかなくなる可能性もあります。そうなるといくら予算を投入しても改善しないことにもなりかねない状況の中で、今年度は大幅に予算を増額しています。

(1) 今年度の駆除の実績及び予算の執行状況を伺います。

(2) イノシシの生息数やその変化の度合いを把握しているか。なければ把

握する必要があると考えているか伺います。

(3) イノシシ絶滅大作戦を展開すべきだと考えますがいかがでしょうか。

5 地域公共交通の充実

8月15日の読売新聞によれば、「政府は地方自治体が主体となって乗合予約型で小型バスやタクシーを運行する仕組みを本格的に普及させる方針を固めた。」と報じています。いわゆるデマンドバスですが、「2020年度をめどに導入自治体を今の倍以上の700市町村に拡大させる目標を、交通政策の基本計画に盛り込む。」としています。

今まで、印西市でもデマンドバス等の導入の検討を進めてきたところですが、経済的な理由で実施に踏み込めない状況とのことでした。今回の国の方針は、補助金の投入が大いに期待されるものだと考えられます。

この動きに乗り遅れないよう導入に向けて1歩ふみだしてはと思いますがいかがでしょうか。